

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	920T	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：920T**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

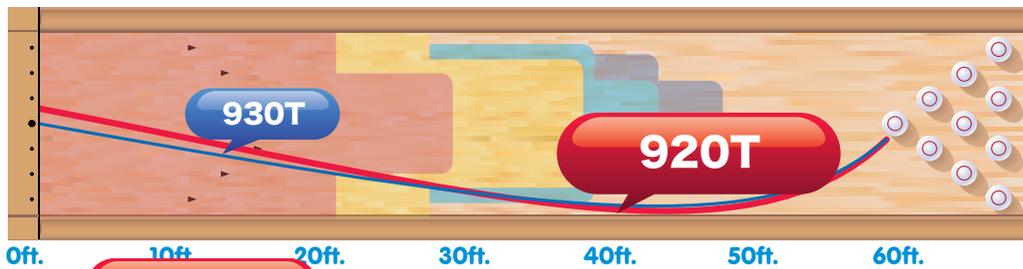
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：930T**

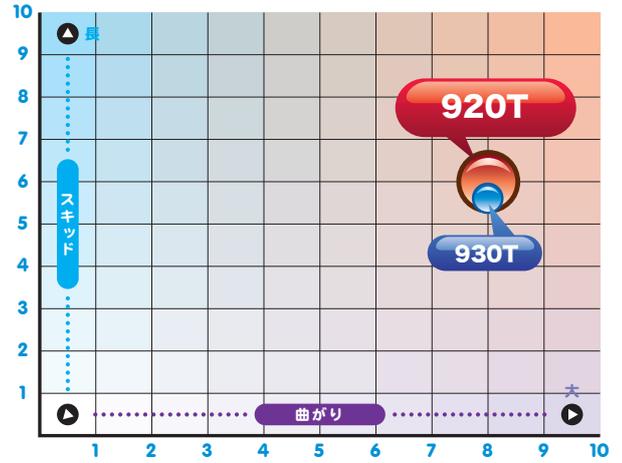
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

トラック社最高峰のキャッチ力を魅せる930Tの”9”のカバーストックの強さと”T”(Traction)の組み合わせ。今回の920Tは同じ”9”と”T”の組み合わせでもパフォーマンスを担う本質のカバーストックに新たなるテクノロジーを取り入れ、更なる段階へと変革を遂げました。今回この920Tに採用されているカバーストック”SHT”(Super Hybrid Technology)はUP RISINGで使用されていたHP GEN2カバーストックと930Tで使用されていたHP GEN3カバーストックのハイパフォーマンス同士のカバーストックを混ぜ合わせたものを称してSHTと名付けられています。そのカバーストック双方の組み合わせること絶妙な凹凸を作ることができ、HP GEN2のスキッドとHP GEN3のキャッチを同時に得られることが、この”SHT”を搭載している920Tの特徴でもあります。

930Tとの比較投球では”SHT”の性能そのままに920Tのほうが”T”(Traction)のかかるイメージがやや遅くは感じるのですが、オイルに弾かれるような軽いスキッドのイメージは全くなく、パワーを蓄えながらの転がりを感じることができました。

930Tよりもややスキッドがある分だけバックエンドの動きも強めに感じられ、強いピンヒットに連動されているのも好印象です。今回日本のマーケットに標準を合わせるため、US発売と日本発売では表面加工は異なっています。

(US発売は#4000アブラロン、日本発売は#2000アブラロン) Modified LeggoコアとSHT搭載の920T。930Tのイメージでもう少し力強い動きが欲しい方には是非使用して頂きたいボールです。

### 特記事項

**ナンバーが表す”9”のカバーストックと”02”が表すInt Diff:0.020、”T”(Traction)性能の920T。強いトラクションと鋭いポケットへの入射角、双方を得るならばこのボールを使うべきでしょう。**